

## 第4回江別市食育推進計画策定委員会 会議録（要点筆記）

日 時：平成31年1月25日（金）午後1時30分～午後2時30分

場 所：市民会館35号室

出席委員：小野寺委員長、伊藤副委員長、八巻委員、中田委員、尾澤委員、佐藤委員、  
今林委員、郷委員、竹居田委員（計9名）

欠席委員：鈴木委員、中橋委員（計2名）

事務局：渡部経済部長、川上経済部次長、堀井農業振興課長、徳橋農政係長、  
木村主事、田中主事（計6名）

### 1 開 会

（小野寺委員長挨拶）

### 2 議 事

#### （1）第3次江別市食育推進計画（案）について

【小野寺委員長】

議事の（1）「第3次江別市食育推進計画（案）」について協議願う。

まず、前回の委員会から修正した案の変更点及び12月から実施したパブリックコメントの結果について事務局から説明願う。

【事務局】

（事務局から「第3次江別市食育推進計画（案）」についての変更点を説明）

（9ページ、目標指標のレイアウトを変更）

（11ページ、誤字の訂正）

（16ページ、ライフステージの記載を簡素化、「生活習慣病予防教室」の追記）

（24ページ、成果指標「1日の推定野菜摂取量（成人期）」の現状値を追記）

※経済建設常任委員会報告後の修正

（2ページ、計画の期間について一部削除）

（10～11ページ、24ページの成果指標「朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合」の内訳を追記）

【事務局】

（事務局から「第3次江別市食育推進計画（案）」についての市民意見募集の結果と市の考え方を説明）

【小野寺委員長】

前回からの変更点、またはパブリックコメントについての事務局からの説明に意見はないか。

【中田委員】

パブリックコメントの市の考え方における学齢期の子供たちに対する指導に関して、消費者協会でもお菓子作りの講座を開いたが、なかなか人数が集まらない。市民の参加、関心を高めるためにはどうすべきか。

【伊藤副委員長】

食生活改善協議会の親子料理教室では継続することで参加する市民は着実に増えている。年々子どもたちからの要望も増えており、献立に組み込んでいる。

【尾澤委員】

食育活動は周知だけでなく、活動を継続することで着実に輪が広まっていくのではないか。パブリックコメントへの市の考え方には、学齢期の食に関する指導とあるが、

市や学校教育では具体的にはどのような調理の体験等の取り組みがなされているのか。

**【事務局】**

保健・福祉・教育・農商工各分野がそれぞれの分野が主体的となって、16ページ以降のライフステージ②に例示される活動に取り組んでいる。

**【小野寺委員長】**

食育は対象とする市民や主体となる分野が入り組んでおり、今回の計画案では、分野ごとに見開きで活動の事例をまとめている。対象とする市民ごとの一覧にはなっていないが、その中から調理の体験を抜粋して見ていただきたい。

**【中田委員】**

デンマークでは毎週、学校教育の中に授業の中に買い出しや調理の時間が組み込まれている。授業に組み込むことができれば、どんな家庭でも実生活に生きる学習ができるのではないかな。

**【佐藤委員】**

学校教育の現場では、家庭科の時間数が年々減らされている。家庭科の中には食以外の要素もあり、なかなか厳しい現状である。

**【尾澤委員】**

実生活の中で、冷蔵庫にあるもので料理を作れるという事は大切であり、そのためには、調理体験が欠かせない。

**【佐藤委員】**

小学校では5年生で食について学ぶ5、6時間程度の時間数しかなく、お米を炊く、野菜を炒める、サラダを作るなど基本的な内容だが、生きることに結びつく体験活動は大切であると感じる。

**【小野寺委員長】**

食育は家庭でできること、学校でないとできないこと、それぞれ現代の食を取り巻く古くて新しい問題であり、ずっと考えて行かなくてはならない。

**【今林委員】**

10ページ、保健分野では野菜の摂取促進と掲げているが、「生活習慣病予防に効果的な野菜の摂取促進」とは何か、野菜の摂取促進から一歩踏み込んだ提案が必要なのではないかな。

**【伊藤副委員長】**

市の健康推進室と一緒に活動している中で、市民に350gの野菜を実際に測ってもらったり、野菜の料理教室を開催したりと、市民と接した様々な活動は行われている。

**【事務局】**

市民の1日の推定野菜摂取量が少ない現状からも、特定の野菜ではなく全体の野菜摂取を促進させる必要があると考える。

**【郷委員】**

市民の野菜摂取量の少なさに対して市民が摂りすぎている栄養摂取の項目などの情報は無いのか。

**【事務局】**

個々の栄養摂取目標については健康づくりプラン等で定めるところであり、本計画では、野菜をもっと摂取することでバランスの良い食事につながるという整理である。

**【小野寺委員長】**

その他、計画に関わらず意見はないかな。

これをもって「第3次江別市食育推進計画」の最終案としたいがよろしいかな。

(異議なし)

### 3 その他

#### 【渡部経済部長】

「第3次食育推進計画」の策定にあたって各委員の皆様には多忙の中、議論、協議いただきお礼申し上げます。

若い頃は、自分の体が食で作られている実感がなかなか無い中で生活することが多く、この計画を通して、若い頃から食の大切さについて伝えていかなければならないと実感した。また、健康寿命の延伸のためにも全世代通じて野菜の摂取促進は重要であると認識している。

今日、最終案として協議していただいた計画については、市長決裁の上、経済建設常任委員会に報告し、策定としたい。

### 4 閉 会

#### 【小野寺委員長】

全4回の会議にわたって各委員から貴重な意見をいただき、第2次計画に続く希望を持てる計画ができた。

最後ではあるが、本計画を製本するにあたって色付けすることが可能であれば、委員から意見のあった16ページ以降の取り組みの方向性について、対象とする市民が串刺しとなって見えるのでさらに分かりやすく見やすくなるのではないかと、ひとつ要望としたい。

以上をもって第4回江別市食育推進計画策定委員会を終了する。

以 上